



令和6年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年9月28日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <https://www.okaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 健広  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中根 啓司 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 令和5年10月13日 配当支払開始予定日 令和5年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年2月期第2四半期の連結業績(令和5年3月1日~令和5年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年2月期第2四半期	544,508	16.2	16,034	1.6	17,797	6.9	11,782	4.4
5年2月期第2四半期	468,699	—	15,781	48.3	16,655	28.9	11,285	28.0

(注) 包括利益 6年2月期第2四半期 39,799百万円( 137.3%) 5年2月期第2四半期 16,771百万円( △12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
6年2月期第2四半期	円 銭 1,224.73	円 銭 —
5年2月期第2四半期	1,172.88	1,172.39

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、令和5年2月期第2四半期の売上高については対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
6年2月期第2四半期	百万円 758,136	百万円 343,296	% 43.0
5年2月期	716,785	304,975	40.2

(参考) 自己資本 6年2月期第2四半期 326,082百万円 5年2月期 288,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
5年2月期	円 銭 —	円 銭 120.00	円 銭 —	円 銭 125.00	円 銭 245.00
6年2月期	—	125.00			
6年2月期(予想)			—	125.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年2月期の連結業績予想(令和5年3月1日~令和6年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,000,000	3.9	28,000	△4.9	31,000	△4.8	20,000	△15.0	2,078.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年2月期2Q	9,720,000株	5年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	6年2月期2Q	99,110株	5年2月期	99,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	6年2月期2Q	9,620,889株	5年2月期2Q	9,622,301株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米の金融引き締めによる影響の一方、堅調な個人消費や設備投資により、底堅く推移しました。日本経済は、製造業の生産活動の回復やインバウンド需要の増加を背景に、堅調に推移しました。

このような環境において、当第2四半期連結累計期間における売上高は、5,445億円で前年同期比16.2%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が416億15百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益が160億34百万円（前年同期比1.6%増）、経常利益が177億97百万円（前年同期比6.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117億82百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼部門は、建材関連や製造業向けを中心に順調でした。

特殊鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、産機・工作機械向けが順調に推移しました。

海外は、アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、2,107億円（前年同期比8.1%増）となりました。

## (情報・電機)

エレクトロニクス部門は、車載部品、FA関連が順調に推移しました。

非鉄金属部門は、産機・家電向け電子部品用材料が減少したものの、前年後半に取得した子会社の影響もあり、車載部品用材料が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,521億円（前年同期比35.5%増）となりました。

## (産業資材)

メカトロ部門は、車載部品・工具や自動車関連設備が好調でした。加えて、航空機向け部材の輸入取引が増加しました。

化成品部門は、自動車関連や住宅設備向け共に横ばいでした。

産業資材セグメントの売上高は、1,554億円（前年同期比14.6%増）となりました。

## (生活産業)

配管建設部門は、配管資材が微増となりました。

食品部門は、鶏肉及び水産物の輸入取引が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、261億円（前年同期比1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,581億36百万円となり、売上債権の増加や保有株式の株価上昇に伴う投資有価証券評価額の増加などにより前連結会計年度末に比べて413億50百万円増加しました。

負債は4,148億39百万円となり、仕入債務や借入金の減少もありましたが、繰延税金負債の増加などにより前連結会計年度末に比べて30億29百万円増加しました。

純資産は3,432億96百万円となり、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などにより前連結会計年度末に比べて383億21百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては令和5年3月30日発表の予想数値を据置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,327	16,137
受取手形、売掛金及び契約資産	237,221	242,710
電子記録債権	63,758	66,498
商品及び製品	110,150	104,681
仕掛品	11,576	16,897
原材料及び貯蔵品	2,267	2,411
その他	23,280	23,410
貸倒引当金	△1,968	△1,777
流動資産合計	466,615	470,969
固定資産		
有形固定資産	58,866	59,836
無形固定資産	2,885	2,640
投資その他の資産		
投資有価証券	156,742	192,452
その他	31,911	32,473
貸倒引当金	△234	△235
投資その他の資産合計	188,418	224,690
固定資産合計	250,170	287,166
資産合計	716,785	758,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,337	123,389
電子記録債務	41,007	38,894
短期借入金	152,369	148,925
未払法人税等	5,232	4,336
賞与引当金	1,864	1,884
その他	23,832	28,313
流動負債合計	351,644	345,743
固定負債		
長期借入金	14,363	12,357
繰延税金負債	38,116	49,090
役員退職慰労引当金	1,286	1,063
退職給付に係る負債	2,517	2,604
その他	3,882	3,979
固定負債合計	60,166	69,095
負債合計	411,810	414,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,805	7,803
利益剰余金	191,174	201,753
自己株式	△515	△515
株主資本合計	207,593	218,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,321	95,320
繰延ヘッジ損益	250	811
為替換算調整勘定	5,474	8,351
退職給付に係る調整累計額	3,832	3,430
その他の包括利益累計額合計	80,879	107,913
非支配株主持分	16,502	17,214
純資産合計	304,975	343,296
負債純資産合計	716,785	758,136

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年8月31日)
売上高	468,699	544,508
売上原価	430,660	502,893
売上総利益	38,038	41,615
販売費及び一般管理費	22,257	25,581
営業利益	15,781	16,034
営業外収益		
受取利息	361	384
受取配当金	2,403	2,929
持分法による投資利益	589	416
その他	546	984
営業外収益合計	3,901	4,714
営業外費用		
支払利息	859	1,724
為替差損	1,977	805
その他	190	421
営業外費用合計	3,026	2,952
経常利益	16,655	17,797
特別利益		
固定資産売却益	47	76
投資有価証券売却益	0	2
特別利益合計	47	79
特別損失		
固定資産処分損	37	14
投資有価証券評価損	32	73
特別損失合計	69	88
税金等調整前四半期純利益	16,633	17,788
法人税、住民税及び事業税	4,890	5,069
法人税等調整額	14	289
法人税等合計	4,904	5,359
四半期純利益	11,729	12,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	443	646
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,285	11,782



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年8月31日)
四半期純利益	11,729	12,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	670	24,208
繰延ヘッジ損益	449	518
為替換算調整勘定	3,497	2,439
退職給付に係る調整額	△604	△405
持分法適用会社に対する持分相当額	1,029	608
その他の包括利益合計	5,042	27,369
四半期包括利益	16,771	39,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,066	38,820
非支配株主に係る四半期包括利益	705	978

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第2四半期連結累計期間(自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	194,981	112,288	135,635	24,496	467,401	—	467,401
その他の収益	—	—	—	1,297	1,297	—	1,297
外部顧客への売上高	194,981	112,288	135,635	25,793	468,699	—	468,699
セグメント間の内部売上高又は 振替高	454	1,916	360	2,003	4,735	△4,735	—
計	195,436	114,204	135,996	27,797	473,434	△4,735	468,699
セグメント利益	4,641	4,803	4,244	1,484	15,174	606	15,781

(注)1. セグメント利益の調整額606百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 令和5年3月1日 至 令和5年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	210,796	152,174	155,435	24,776	543,183	—	543,183
その他の収益	—	—	—	1,325	1,325	—	1,325
外部顧客への売上高	210,796	152,174	155,435	26,101	544,508	—	544,508
セグメント間の内部売上高又は 振替高	941	2,680	245	908	4,776	△4,776	—
計	211,738	154,855	155,681	27,010	549,285	△4,776	544,508
セグメント利益	4,585	4,744	4,904	1,320	15,554	480	16,034

(注)1. セグメント利益の調整額480百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。